

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①オリエンテーション ②数値情報を処理してみよう ③処理した情報をわかりやすく工夫して伝えよう ④京都・奈良を紹介するプレゼンテーションを作ろう ⑤完成した作品をお互いに評価してみよう ⑥動力を有効に使った、動く製作物を考えてみよう ⑦動力の伝達方法について検討してみよう(車いすの動く仕組みや体の動きとの関連性を含む) ⑧日常生活で目にする機構について考えてみよう	15	プレゼンテーション ソフトウェアを活用し次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア プレゼンテーション ソフトウェアの仕組みを理解させる。 イ 自ら課題を設定し、プレゼンテーション ソフトウェアを活用し発表作品を製作する。 ウ 製作作品の相互評価等を参考に、改善及び修正をする。 動力を有効に使った、動く製作物を作成させる。 ア 動力の伝達方法について検討させる。 イ 日常生活で目にする機構について考えさせる。	・プレゼンテーション ソフトウェアの仕組みを理解し、発表作品を製作する。 。動力の伝達方法について検討する。 ・日常生活で目にする機構について考える。	・問題を見いだして課題を解決する。 ・過程や完成状況、相互評価を参考に改善及び修正について考えている。 ・製作過程の見通しが持てている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 ・他人の作品を的確に評価することができる。
社会の発展と情報の技術 ①情報の技術の最適化 ②これからの情報の技術	3	(4)これからの社会の発展と情報の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。 イ 技術の評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。	・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、情報の技術の概念を理解している。	・情報の技術の評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	・社会の変化に応じ、柔軟に課題を解決する能力が育成できている。